

H 2 8 年度北浦和校協議会「理事会」（第 10 回）議事録

作成 1 1 期 成瀬 昭一

I. 経緯

1. 開催日 平成 2 9 年 2 月 8 日（水） 13 : 00 ~ 14 : 45
2. 場所 浦和ふれあい館 第二会議室
3. 出席者（敬称略）
（8 期）藏重修二、藤枝一子（9 期）笹川幸雄、山崎守、（1 0 期）木戸武宜、池田善四郎
（1 1 期）久保恭一、渡邊哲夫、成瀬昭一、（1 3 期）、本多健治、松尾郁子、瀧澤道夫
（1 4 期）高木伯耿、加賀見優（1 5 期）野川元、金子博伸、
（欠席）（6 期）大竹一十、寺内由美子

II. 議題と討議

1. 第 9 回「議事録」（H29/1/11）の確認：特に異議なく了承された。

2. 連合会関連事項報告（久保会長）

- 1) 常任理事会（H29/1/10 開催）→先月報告済み、次回は 3 月開催
- 2) 「連合会文化祭・今後のあり方検討分科会」 H29/1/23 開催

①背景

- a. 今年度開催で作品展は 25 回、芸能発表会は 24 回と長い歴史を持つ。
 - b. 反面、ここ 2 年の会場が文化センター大ホールであったこともあり、空席が目立ち、開会式開始時点では 200 名弱の参加しかなかった。また連合会予算 100 万円の 1 / 4 を費やすが、参加数は出演者を含め、8 0 0 名強でこれも総員の 1 / 4 に終わっている。
 - c. 各校（大宮、岩槻、北浦和など）では、各校独自の芸能発表会が実施されている。
- 以上の背景を踏まえ、今後、現状様式のままでの開催を継続するべきかを討議した。

②結論（「議事録メモ」）→賛否両論があり、結論に至らなかったため次回（2/27）に再度討議する。

*改善案の意見：芸能発表会を廃止し、集客力の高い「コンサート」「講演会（例：蓮池薫講演会、1850 人参加）」などを開催してはどうか、また、作品展はさいたま市主催のシルバー作品展に組み込ませる案などの意見があった。

③当分科会に出席した笹川副会長、木戸副会長からの補足説明

- a. 第 2 回分科会(2/27)に向け、各協議会で意見を集約するよう要請がある。
- b. 現状のままの継続への反論も多くあった。
演目は歌と踊りが 7 ~ 8 割を占め替わり映えしない。また玉石混交状態である。
各校独自の芸能発表会と重複し、出演者の負担になる。各校別のものでよい。
参加者も総数の 1 / 4 に過ぎなく、全体の事業としては関心が薄い。
- c. 継続に賛成する者の意見。
*次年度からは、「埼玉会館小ホール」に戻るため、ここ 2 年間ほど空席対応が必要ない。
*出演した者は十分に満足している。発表の機会と考えている。
*ただし継続賛成者の中からも「改善」が必要との声があった。
- d. やる人の動機づけと演目の質を上げるため、審査制度を導入すると案もあった。
- e. 運営準備の責任者は企画部長であるが、毎年交替しノウハウの蓄積が難しい。
P T 制を導入し継続性を高める案も出た。
- d. 1/23 の「議事録（メモ）」は、起草者の意見（継続賛成者？）が強く反映している。
必ずしも継続賛成が多いという印象ではなかった。

④北協としての方向づけ

理事会の後半、自由な意見交換があり、下記のとおり纏められた。
「芸能発表会を現状のままで継続することには反対する。

魅力的なコンサート、講演会を開催した方がよい」

<意見>

- a. 発表の良い機会と考えている人（出たい人）は賛成している。

- b. しかし、北協の演芸会でも出演を要請することによりかなりエネルギーを費やしている。
出たいというよりは、渋々という人も多い。
- c. 出たい人が少ないと、北協演芸会と同じ演目の人に要請することになり、負担が増えている。
- d. 現在の出演者のレベルは、玉石混交である。
- e. 芸能発表会に変わる催しでビッグネームの人を呼ぶ場合、資金の裏付けが必要となる。
連合会への助成金を増額してもらうよう、市に要請してはどうか。
老人クラブへの助成金はシニアユニバーシティ連合会向けより高額である。
- f. 連合会の機能そのものを見直すべきとの意見もある。
- g. 運営の準備にかなりの労力が費やされている。新たな人が担当した場合、質が維持できない。
- h. 集客力の高い催しに変えることを提案する場合、具体的な候補案が必要である。

3) H29/2/19 文化祭：作品展・芸能発表会

①作品展：出品者には、作品の搬入、搬出のスケジュールを連絡済み。

②芸能発表会

a. 音響関連の事前確認は無事終わった。

b. 開会式 10：00 開始

*清水市長・市議会議長、高齢福祉課課長が来賓として出席する。

*担当者は、8：45集合のこと。

*動員：午前→8・10・13期/午後→6・9・11・14期(+15期)、各期20名以上
→閉会式まで居残るか否かは、個人の事情で決めればよい。あくまでも依頼である。

3. 北協事業について

1) 助成金充当事業の「事業報告書」は、3/上までに提出のこと(所定の書式)

2) 事業報告：H29/1/19 防犯講和と県警音楽隊コンサート 担当 9期

*参加数 210名(北協関連 180名、連合会など 30名)

*防犯講和(西警察署)：ふりこめ詐欺、交通安全→実生活に即しており参考になった。

*コンサート：演奏の質も高く、なじみのある選曲で楽しめた。

*収支：収入/助成金→¥8,000、支出/会場費¥7,560、機材費¥15,300、駐車
料・お茶など計¥25,736→収支：¥17,736赤字→9期校友会で負担。

3) 次年度北協事業案について

先月に続き、継続案件、新規事業案件の確認が行われた。

①社会貢献事業

a. お元気クラブ運営支援(継続)→2/13 メディカルセンター側と打合せ。

参加：久保・瀧澤・木戸(当日担当期)・6期(4月担当)

b. 荒川クリーン作戦・尚和園慰問・赤い羽根募金活動→継続

②北協事業(助成金充当及び独自事業)

a. 浦和おどり→継続→担当 PT制

b. 響田氏講演会→継続を前提に検討中→担当 未定

c. ふれあいコンサート→継続→担当 6期

d. 落語鑑賞会→別途事業に組換え(候補：明大OBマンドリンコンサート)→担当 8期

e. 県警吹奏楽隊コンサート→好評であったので継続を検討中→担当 9期

f. 北協演芸会→継続→担当 PT制

g. 県外研修バス旅行→数年中断中→復活を検討→担当 PT制

h. 「ジョリーロジャーズコンサート」→新規→担当 11期

i. ゴルフ合同コンペ→継続→持回り

j. 親睦ボウリング大会→継続→担当 持回り 13期

③新規に取り組む課題

<課題>「各期のクラブ活動の横断的交流を進める。」

<意見>

a. 現在、ゴルフで実施していることを拡大していく。

b. 事例：大宮校 1期と2期→詩吟クラブを合同で運営、東浦和校 13期・14期 コーラス

部を合同で構成、北浦和校 6期のコースに8期数人が参加

c. 規模はいくつか想定できる。

a) 全体にPRし拡大する方法、b) 単独期では参加数上催しが成り立たない事項のコラボ

c) 特定クラブを複数の期で合同運営など

d. 周知手段

: HPを活用→どんなプランがあるかをPRする。HPを見た人が関心ある人に知らせる。

e. これまでよりもより具体的に成果が上がるように工夫する。

f. 連合会「仲間づくり」もあるが、規模から考えて、協議会レベルでやるのが現実的。

g. クラブに会員登録する場合も、単にある催しに個別参加する場合もありうる。

例:「囲碁大会」を計画してもいい。

h. 「この指とまれ」的な運営が受け入れやすい。

4. 平成29年度 役員人事

次回(3/8)に、各期理事名を提示のこと

内示段階でいい。もし未決定の場合、現理事のまま連合会に連絡する。

次年度連合会常任理事→10・11・13・14期担当

5. その他

1) さいたまーチ

北協からの参加数 45人、参加費(@¥1,300)徴収済

2/15までに指定の口座に振り込む

以上